

地方公共団体における人権教育事業の実施状況に関する調査研究
事例調査票

様式2

(財)人権教育啓発推進センター

実施自治体・担当課（連絡先）	神戸市教育委員会 社会教育部 神戸市立葺合公民館 電話： (078)232-4026
----------------	---

1. 概要

事業名	公民館開校式「公民館で元気を分かち合おう」
主催(共催)	神戸市教育委員会 社会教育部 神戸市立葺合公民館
実施年月日・実績等 *回数・参加人数・作成部数等	実施日:4月6日 回数:1回 参加人数:110名 作成したパンフレット部数2000枚
開催場所	葺合公民館
対象	一般市民
人権課題	人権全般 特に高齢者

2. 事業内容

<p>(1)事業の目的</p> <p>・神戸大学助教授の講演を通じて、身近な人権問題を感じ考えてもらうことがねらい。人権課題全般の話と、高齢者の人権課題についても取り上げるため、来たるべく少子高齢化社会に対して社会参加することの意義をもつことがねらい。また、公民館は世代を超えた人と人とが交流し、つながりが出来る場である。そんな公民館でみんなが集い、有意義に活用し、いきいきした生活を送ろうということを趣旨とした。</p>

<p>(2)事業概要</p> <p>講師により講演。前半は一般的な人権についての課題の話。後半はエンジグ教育の大切さと、高齢者のエンパワメントについての話。最後に公民館の存在意義と社会参加への場としての公民館の利用についての話があった。</p>
--

<p>(2)-1 連携状況</p>

<p>(2)-2 特色・工夫した点(広報の方法も含む)</p> <p>クイズ形式や様々なエピソードを交えた楽しい講演会にした。</p>

<p>(3)参加者の反応・事業の反響等</p> <p>講演会終了後アンケートを実施したところ、「普段意識していなかった人権を考えるきっかけとなった」「高齢者者でもできることはたくさんある」「公民館での活動をも直し、自分たちで活動の場を広げたい」など、前向きな意見が多く聞かれた。人権全般では、日ごろ意識した生活の中にも多くの人権課題があることがわかった」などの回答が寄せられた。</p>

<p>(3)-1 反省点・今後の課題</p> <p>・毎年イベントを開催するかどうか、また開催するならば、経費を抑えながら今回のような充実した内容にすることが今後の課題だと感じた。今後人権テーマについては、順次さまざまなものをとりあげていきたい。</p> <p>・より多くの方に参加していただくために、会場のユニバーサルデザイン化、内容の工夫の必要性(タイムリーなもの・関心の高いもの)を感じた。</p>
--